

登録コード	HM111200	開講年度	2026				
授業題目	消化器・腎臓内科診断学特論					担当教員	上條 祐司 他
英文授業名	Diagnostics in Gastroenterology and Nephrology					副担当	長屋 匡信・木村 岳史
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					・臨床研究の遂行方法を習得することができるようになる。	
(2)詳細/Detailed information	消化器病学、腎臓病学の内科診断学を学習して研究テーマを考え、論文作成に役立たせる。						
(3)授業の概要/Overview of course	消化器疾患、腎臓疾患を中心とした内科診断学を講義し、臨床研究の遂行方法を習得する。さらに、データ解析に効率的に行うための臨床所見や検査所見の集積方法を習得させる。 本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。						
(4)授業計画/Course plan	(オムニバス方式) (木村岳史 第1回～第4回) 内科疾患診断の理論的根拠と手順を概説する。さらに、集積されたデータを総合的に解析する方法を習得する。 (上條祐司 第5回～第8回) 腎疾患診断の理論的根拠と手順を概説する。さらに、集積されたデータを総合的に分析する方法を習得する。 (長屋匡信 第9回～第12回) 消化管疾患を中心に、消化器内視鏡を使用した診断法を講義する。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	毎回の小テスト30%と期末試験（筆記試験）70%を課す。 合格水準にあるのは「基本的な専門用語や概念を知っており、内科診断学を説明する際にどの用語や概念がふさわしいかが判断できる」場合である。 「卓越している」場合は秀、「かなり上にある」場合は 優、「やや上にある」場合は良、「合格水準にある」場合は可となるが、それ以外は不可となる。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	本講義は、内科学の基礎を系統的に行っていく形式の授業である。 前週の授業内容の理解を問う毎回小テストを授業冒頭に行う。それに備えるためのワークシートを毎回配布するので、それを使って授業内容を毎回復習してから授業に臨むこと。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	上條祐司 yujibeat@shinshu-u.ac.jp						
(8)授業の形式/Course format	本講義の内容は、毎回の話題が互に関連性を持つ積み上げ型の講義である。講義が終了してから、講義資料を読み返しよく復習しておくこと。						